

# 復帰半世紀へ 展望沖縄の姿

2012年に策定された沖縄21世紀ビジョン基本計画には、「強くしなやかな自立型経済の構築」が掲げられている。第3、



世界初の小型海水淡化装置を開発したワイスクローバルビジョン。世界の市場に販路拡大している。11日、うるま市勝連南風原

## 国内外へ販路拡大

集積地域に立地するワイスグローバルビジョン。12年の設立で一括交付金を活用した県産業振興公社の「県産工業製品海外販路開拓事業」や「戦略的製品開発支援事業」などを活用し、小型海水淡化装置を開発した。国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の一つ「す

るものづくり振興ファンド有限責任事業組合」の出資を受け、製造基盤の拡充を図る。技術者でもある大嶺光雄会長は「最初の10年は失敗ばかりだったが、支援を受けてチャンスをつかむことができた。沖縄から世界で勝負していく」と前を見据え

= 6 =

第4のリーディング産業創出を目指にこれまで産業振興が図られてきた。18年工業統計調査で製品出荷額、付加価値額ともに全国最下位など残された課題は多いが、県や内閣府からの支援を足掛かりに製品開発や国内外への販路拡大に成功した企業も生まれ始めている。

うるま市の国際物流拠点産業

18年からは県産業振興公社や県内4金融機関でつくる「沖縄

諸国を中心に11カ国に装置を出荷し、社会貢献にも取り組みながら世界に視野を向けてい

る。

# 需要を読み、技術生かせ